

日立図形処理端末システムHITAC G-710(エンハンス)

産業界での設計、製造の合理化・省力化手段としてCAD、CAMの採用が盛んになっている。

日立図形処理端末システムHITAC G-710(図1)は、発表以来多くのユーザーに利用されているが、今回これらユーザーの意見、今後の利用の拡大を考慮し、幾つかの改訂を行なうことにした。

1. システムの概要

(1) メモリ容量の拡張

最大128k語までサポートする。この拡張により、表示用メモリが従来の約

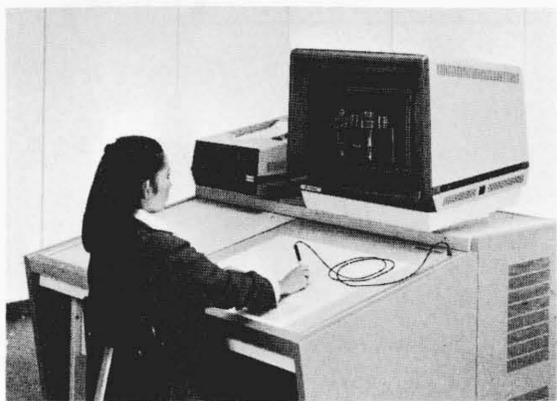


図1 日立図形処理端末システムHITAC G-710

表1 構成機器の形名

No.	品名	形名	備考
1	図形処理端末装置	HT-5483-11	19inディスプレイ(基本端末)
2	"	HT-5483-21	25inディスプレイ(")
3	"	HT-5484-11	19inディスプレイ(増設端末)
4	"	HT-5484-21	25inディスプレイ(")
5	グラフィックタブレット	HT-5485-11	A0サイズ
6	テーブルせん孔機	HT-5159-11	専用台付
7	X-Yプロッタ装置	HT-5695-11	フロッピディスク装置付
8	ハードコピー装置	HT-5611-21	4チャンネルマルチプレクサ付
9	"	HT-5611-11	マルチプレクサなし
10	増設メモリ	HT-F5483-11	32k語/ボード

3倍になるため、表示情報の蓄積量が増加し、システム設計が容易になる。

(2) 大形ディスプレイのサポート

25inの大形ストレージディスプレイをサポートする。従来の19inディスプレイに比べ表示面積が40%増加するため、プリント板など高密度表示が必要な場合、極めて有効である。

(3) 筐体形状の変更

従来、基本端末装置のディスプレイ

は正面に向かって左側に配置していたが、人間工学的見地から右側に変更した。本変更により2ステーションシステムの場合、どのステーションも同じフィーリングで使用することができる。

2. 形名の設定

今回、表1に示すようにシステム構成機器に対し形名を設定した。

(日立製作所 コンピュータ事業本部)

日立分散形図形処理システム HITAC G-730 (拡張システム)

設計製造分野での合理化・省力化に応ずるため、昭和54年3月に発表した“HITAC G-730”システムは、既にユーザーで実稼動し、各企業の合理化・省力化に貢献している。今回、一般グラフィックシステムの適用動向、ユーザーでの実使用面からの要望を反映させて、日立分散形図形処理システムHITAC G-730(拡張システム)を開発したので紹介する。

1. 主な特長

(1) 主記憶容量を最大256k語まで拡張し、基本プログラムの機能強化、ユーザープログラム作成の際ユーザー独自のシステム構築でのユーザー負担の軽減を図った。その他、主な拡張機能は、(a) 2次元処理と3次元処理が、ステーション対応に同時動作できる。(b) 対話による図形処理と、ユーザープログラム開発作業(コンパイルリンケージなど)のバッチ処理を同時動作ができる。(c) ワークステーションが最大4ス

テーションまで接続できる。

(2) 3次元図形処理は、本システム独自でモデリング機能を持ち、モデルの作成と任意角度表示、4面表示ができる。またアプリケーションプログラムとして、(a) 隠れ線処理、(b) 図形データ検索、(c) 平面切断、(d) 3次元/2次元データ変換、(e) 3次元POET、(f) 3次元自動寸法表示が用意されている。

(3) ステーション性能強化のため、高



図1 日立分散形図形処理システム HITAC G-730(拡張システム)

表1 システム仕様

項目	仕様
メモリ容量	最大256k語
ファイル容量	最大91.6M語
ステーション数	最大4ステーション

速ワークステーション接続ができる。

従来の端末に対し、メニュー操作入力回数の低減、セレクション操作、ブザー音による応答などの操作性の向上及び図形展開制御を改善し、ディスプレイ表示速度をなおいっそう向上させ、総合的に応答性能の向上を図った端末である。

(5) 大容量ディスク(36M語の容量をもつディスクを最大2台)を接続することができる。

2. 主な仕様

主な仕様を表1に示す。

(日立製作所 コンピュータ事業本部)

製品紹介

ターミナルシステムHITAC T-530/40

本システムは、豊富な端末技術と多くのユーザーニーズを取り入れて開発した新しい生産管理システムである。このシステムは、従来の狭義の生産管理システムの概念を脱し、データ収集、問合せ、帳票発行、その他諸機能を網羅し、各種の端末装置をそろえた総合的な生産管理システムである。

本システムは、オンライン、オフラインいずれの形態をもとることができ、生産管理はもとより、その他の幅広い分野に適用することができる。また、各端末装置は経済的な網構成によってターミナルコントローラに接続され、拡張性のある柔軟なシステムを構成することができる。

1. 主な特長

- (1) 3種類の処理モード（オンラインリアルタイム、オンラインデータエントリ、オフライン）により即時性、ホスト処理能力、運用形態などからくる要求を完全に満たすことができる。
- (2) データステーション、各種プリン

タ、ビデオデータターミナル、その他種々の端末を用意し、業務に適合した総合的なシステムが構成できる。

- (3) 電話線の使用とブロックごとの回線集約を可能にした網構成により、回線工事費の低減を図ることができる。
- (4) 各装置は、信頼性、操作性及び環境条件を十分考慮して設計され、現場指向の装置となっている。
- (5) 端末装置の移設、増設に当たって

はシステムになんら影響を与えず、また各種の確認テストができる。

- (6) ターミナルコントローラではチェックプログラムにより、データステーションからの入力データを多岐にわたってチェックでき、クリーンデータだけをホストコンピュータに渡すことができる。

(日立製作所 コンピュータ事業本部)

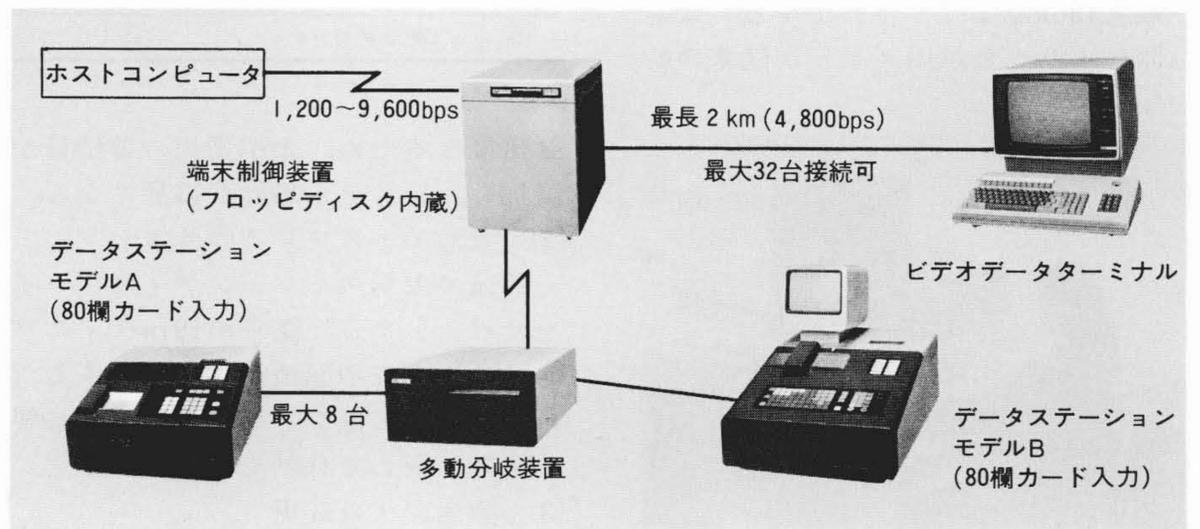


図1 ターミナルシステムHITAC T-530/40 構成図

■特集：上下水道システム

- 上下水道システムの技術と動向
- 上下水道における設備・運用計画技法
- 広域上下水道システムの総合制御
- 上下水道システムの信頼性予防保全
- 上下水道システムの省エネルギー
- 新鋭浄水場の設備
- 新鋭浄水場の制御
- 活性汚泥プロセス水質制御の高度化
- 下水の高度処理プロセスと新技術の応用
- 日立汚泥用流動焼却システム
- 最近の日立上下水道監視制御システム
- 最近の水質計測
- 最近の流量計測

- グラフィック 北見の大規模飼料工場
- ルポ 鳥取・倉吉の大規模かんがい設備
- 明日を開く技術<8> 微細加工技術
- 家庭コーナー ビッタリバック日立冷凍冷蔵庫
- 技術史の旅<51> 石炭と鉄道
- 続・美術館めぐり<8> 栃木県立美術館
- 新製品紹介 掃除機・洗たく機・電子レンジ・カラーテレビ

編集委員

委員長 渡辺 宏
 委員 三浦武雄
 " 松岡 巖
 " 上妻 冲
 " 宮沢石雄
 " 加藤正敏
 " 鈴木勝昭
 幹事 倉木正晴

企画委員

委員長 三浦 武雄
 委員 上妻 石雄
 " 宮沢 彦久
 " 山本 正夫
 " 浜田 進
 " 高橋 知信
 " 島田 福彦
 " 片岡 滋
 " 村上 啓一
 " 庄佳 彦
 " 建脇 勉
 " 木下 敏雄
 " 藤田 惟之
 " 倉木 正晴
 幹事 竹下 知

日立評論 第62巻第7号

発行日 昭和55年7月20日印刷 昭和55年7月25日発行
 発行所 日立評論社 東京都千代田区丸の内1-5-1 ☎100 TEL(03)270-2111(代)
 編集兼発行人 倉木正晴
 印刷所 日立印刷株式会社 東京都千代田区内神田3-11-7 ☎101 TEL(03)252-1341(代)
 定価 1部400円(送料別) 年間購読料 5,300円(送料含む)
 取次店 株式会社オーム社書店 東京都千代田区神田錦町3-1
 ☎101 TEL(03)233-0641(大代表) 振替口座 東京6-20018

© 1980 by Hitachi Hyoronsha Printed in Japan (禁無断転載)